HAI-FES 第2回 セミナー

Future Earth・SDGsへの貢献のための北極域研究拠点の構築

～サステイナビリティ・サイエンスが目指す北極域の課題解決に向けて

北極域では、急速な温暖化とそれに伴う種々の環境変化が起きています。北極社会が直面しているこれらの問題は、いずれ非北極圏でも遭遇することが予想されます。サイエンスには、分野をこえた連携や新たに生起する社会の課題や要請にこたえ、持続可能な課題解決策の実現に貢献することが求められています。大学の機能強化促進プロジェクトであるHAI-FESでは、北極域の課題解決につながる知見や情報を提供し、議論する機会となるセミナーを定期的に開催いたします。第2回セミナーを以下にご案内申し上げます。第2回セミナーでは、フューチャー・アース日本委員会の共同代表である安成哲三氏に科学と社会のあり方について、RAM AVTAR氏からFUTURE EARTH GLOBAL LAND PROGRAMMEの活動の紹介も含めてSDGSの実施に向けた地理空間データについて発表いただきます。また、近藤祉秋氏からは「スローサイエンス」としての文化人類学とマルチスピーシーズ研究について、当センターの大西富士夫と対談形式で発表していただきます。さらに安成氏、近藤氏および当センターの大塚夏彦がパネリストとなり、大西の司会で、フューチャー・アース活動について討論を行います。

日時： 2022 年 8 月 4 日（木）9:25-12:20

形式： 対面およびオンラインによるハイブリッド開催
（オンライン接続情報は参加受付後にメール配信します）

場所： 北海道大学 創成研究機構、5F大会議室
札幌市北区北21条西10丁目

講演

9:30-10:10 安成哲三（総合地球環境学研究所、京都気候変動適応センター長/フューチャーアース日本委員会 共同委員長）
「科学と社会のあり方について－地球的地域的課題にどう向き合うべきか」

10:10-10:50 Ram Avtar（北海道大学地球環境科学研究院 統合環境科学部門、准教授/Future Earth Global Land Programme Director）
「Geospatial data for Implementation of SDGs」

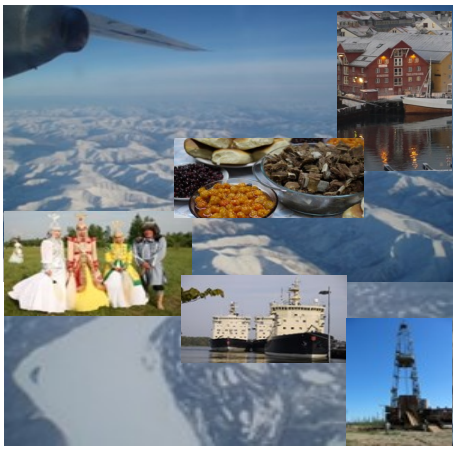
10:50-11:30 近藤祉秋（神戸大学大学院国際文化学研究科、講師）
「マルチスピーシーズ研究とは何か？ 自然科学と人文学の対話を目指して」（大西富士夫との対話形式）

座談会

サステイナビリティ・サイエンスが目指す課題解決

11:30-12:15

ファシリテーター：大西富士夫（北海道大学北極域研究センター、准教授）
パネリスト：安成哲三（既出）、近藤祉秋（既出）、大塚夏彦（北海道大学北極域研究センター、特任教授）



主催：

北海道大学北極域研究センター
https://www.arc.hokudai.ac.jp/

共催：

北海道大学フューチャー・アースコンソーシアム
https://hufec.arc.hokudai.ac.jp/

参加申込：

下記webサイト(Google form)より主要情報を入力ください。なお、会場参加をご希望の方は、創成研究機構への入場方法をお知らせします。
https://forms.gle/sGedPqnvuZ1KNpv28

《 事務局 》

北海道大学北極域研究センター
hai-fes@arc.hokudai.ac.jp
https://www.arc.hokudai.ac.jp/

HAI-FES(Hokkaido University Arctic Initiative for Future Earth and SDGs) 本学の北極域研究者が部局を超えて結集し、北極域の持続可能な利用を目指した総合的な研究と同時に、国際協働研究プラットフォームのフューチャー・アース（FE） と連携して北極域の課題解決に取り組むプロジェクト。(https://www.arc.hokudai.ac.jp/hai-fes/)